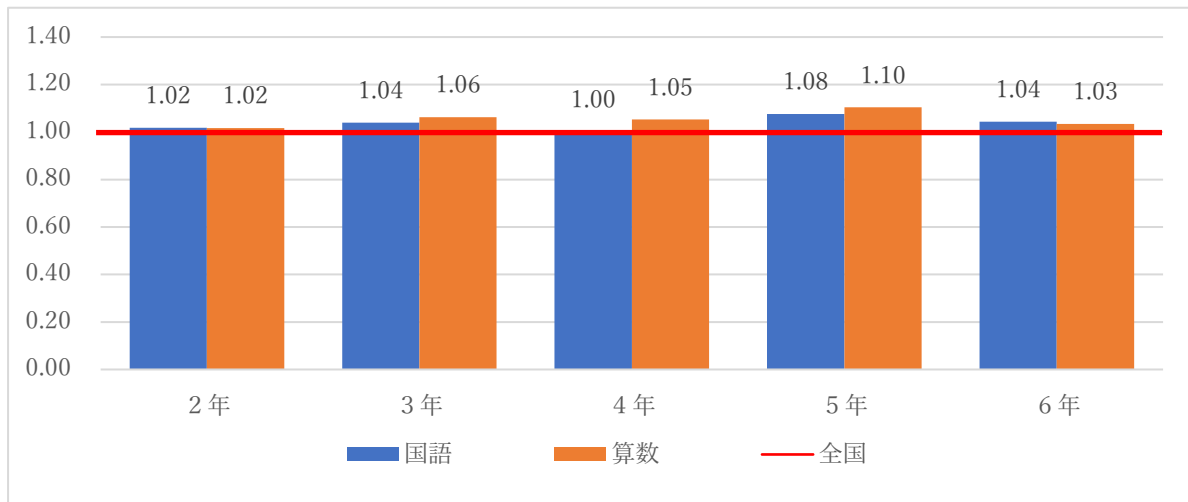


## 令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第五中学校区 神田小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	「書くこと」領域については、全学年で全国平均を上回る結果であった。ペアワークで自分の考えを伝え合う活動をさらに進め、「話す・聞く」「書く」学習活動へつなげていく。
	算数	「数と計算」「測定」領域については全学年、また、3～5年生では「活用」問題において全国平均を上回った。今後も「目的や意図に応じて説明する力をつける」授業を行っていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」設問が、全国平均を10ポイント以上上回った。引き続き、「対話の素地を養う言語活動」に取り組み、「考える力」を育成していく。
	算数	「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する」設問が全国平均を10ポイント上回った。今後も図と式と結びつけ、言葉で理由付けながら説明することを大切に学習活動を行っていく。
	質問紙	「学校の授業時間以外に、普段1日当たり全く読書をしない」児童の割合が昨年度より減少している。毎日の朝読書の取組を引き続き行い、読書活動の推進に取り組んでいく。

○学力向上の取組

### 【 中学校区 】

中学校区3校教職員で構成する小中一貫推進部会・8部会を定期的に開催し、各校の取組や進捗状況、学力調査の結果分析や課題の共有等を行っている。さらに、ディベート教育や「考える力」育成に向けた合同研修会、授業公開を開催し、同じ方向性のもと、取組を推進している。

### 【 学 校 】

研究テーマである「目的や意図に応じて、説明する力をつける」ために、話し手だけでなく聞き手の主体的な態度を育てるとともに、ディベート教育を進めることで「考える力」の育成を図っていく。